

職場での対応

仕事への影響

皮膚症状の悩みは常に続き、職場も含め日々の生活のあらゆる場面に影響します。

「同僚に皮膚症状について話をしますが、理解してくれる人ばかりではありません」

乾癬患者、Ya-Hsinさん談

特に仕事がある日は、「アブセンティズム」と「プレゼンティズム」という2つの問題に悩まされることとなります。これらはいったい何を意味するのでしょうか？

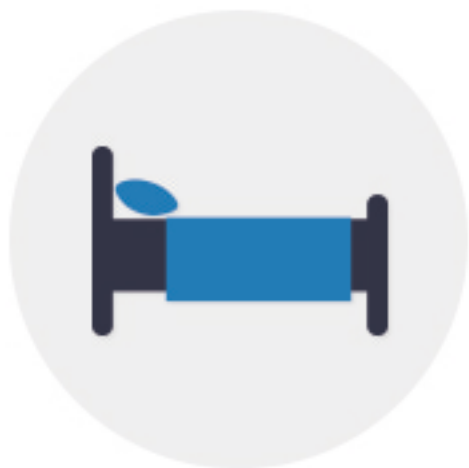
アブセンティズム

病気や体調不良などで職場を定期的に休んでしまうこと¹。

プレゼンティズム

日本では「疾病就業」と訳される。病気やケガなど、心身が不調にもかかわらず出勤することで、業務の生産性が低下してしまうこと²。

ご存じでしたか？



49%の乾癬患者さんが、その症状のために日常的に仕事を休むことがあるという報告があります³。

平均的に、乾癬による影響で仕事の生産性は約**8%**低下するというデータがあります⁴。



職場環境の見直し



勤務場所に関して、同僚や上司に話してみましよう。症状に応じて在宅での勤務をさせてもらえるか相談することも検討してみましよう。



症状がひどくて仕事が思うように継続できない場合は、かかりつけの医師に相談してアドバイスをもらい、必要なサポートをしてもらいましよう。

皮膚症状と付き合っていくことと仕事とを両立させるためのヒントは「理解へのステップ」をご覧ください。